

福祉の伴も一人一役みんなが主役

サロン復活 中井監督が登壇

伴社協の「いこいの家」サロンの講演会が一月十三日、春の甲子園出場の広陵高校野球部、中井哲之監督（副校長）を講師に迎えて沼田公民館で開かれました。

コロナ禍で中断したサロンの四年ぶり復活の第一弾として沼田公民館と共催して企画。地元ゆかりの名物監督の登壇に約七十人が来場しました。



共感と呼んだ教育理念(1月13日・沼田公民館)

プロ野球選手も数多く育てた中井監督。金本、二岡、新井良；監督やコーチなど球界の指導者の厚みが、他の強豪校より断然勝っている点を披露しました。

その原点は「一人一役 全員主役」を掲げ、コーチや控え選手、家族を含めてみんなを大事にする野球部の教育。輝かしい成績や有名選手の輩出に増して「三年間、補欠を頑張りました」と社会に出た時、胸を張って言える子たちが「一番の自慢です」と中井監督は、親が子を見るように目を細めます。

「昔は地域で声を掛け、叱ったり、お節介を焼いたりするなどの大人がたくさんいた。今、子どもの目を見て心に伝わる普段の挨拶が大事です」と結びました。
(総務部会部長 中村晴男)

大学生と同席スマホ教室

老人いこいの家サロンとして二月五日、シニア向けスマホ教室も開催。広島経済大の学生たち十五人を講師に迎え、参加者二十人が基本操作を学びました。スマホは出欠連絡など便利だが、使い方が分からないと何もできない。お年寄りの悩み解消に大学と連携して企画。参加者同士がLINEの友達になり、



シニアの悩み解消

交流する姿も見られました。学生と同席の教室が大変好評でした。

さわやかサロン200回

広陵地区のさわやかサロンが二月、二百回を迎え、下伴集会所で記念講演会を開催。講師の広陵高校野球部の中井哲之監督は「お年玉の時も、孫の目を見、声を掛けて渡してください」とお年寄り約五十人に語りかけていました。

「笑顔に会えば元気になれる」が合言葉。合唱や体操など行事進行の役割もお年寄りが分担し、みんなが主人公。運営委員会が地域から講師を発掘しています。

× × × × ×
伴学区のサロンは七カ所、民生委員や福祉委員ら地元団体が

みんなの善意銀行

住民参加の福祉の伴づくりを応援する善意銀行助成金。赤ちゃんからお年寄りまで住み良い地域を目指す団体活動に助成します。

令和五年度は団体育成費（九団体）、敬老会補助金（千七十三人該当）、新規支援団体補助金十九万五千円を支出。新規の内訳は、第一共進花好き仲間の花壇の花植え管理、広陵散歩を楽しむ会「美しい散歩道」の看板制作、伴学区ふるさと祭りと防災町民運動会。ふるさと祭り作業だけがをした体協スタッフに見舞金を出しました。



みんなの散歩道

設立四年間で地域福祉、町づくり、防災・災害支援の地域おこし関連の三分野で計十五件。総額は百万円を超えました。助成金の申請は年間を通じて呼び掛け、運営委員会が活動内

容等を審査します。
(事務局長 池田美代子)

ボランティアバンク「とも」

ひとり暮らし・高齢世帯のみなさんが、住み慣れた地で安心して暮らし続ける少しばかりのお手伝いです。令和五年度の作業件数は二十九件に上っています。

訪問作業の庭関連が草取り・草刈り六件、庭木の枝落とし、防草シート敷設各二件、花壇水やり一件で全体の約三分の一。防草シートの一件は協同労働団体紹介、花壇は依頼者が入院中の世話です。



地域で支える

続いて網戸の張り替え二件、倒れかけたフェンスの修理、灯油の廃油処理、大型ごみ運搬が各一件と多岐にわたっています。通院支援に一人の利用があり、支援者二人一組で計十二回付き添っています。

伴あんしんネット

また、お手伝いいただける会員も募っています。元気なお年寄りには地域の福祉の担い手です。
(事務局長 上野昭司)
申し込み先
沼田老人いこいの家
電話 八四八一三二七七

一人暮らしのお年寄りや支援が必要な高齢者を近隣の協力がが見守ります。高齢者登録者は現在三十三人。いつもの挨拶、さりげない声掛けで寄り添います。

地域包括支援センター内
伴あんしんネットの会
電話（八四九）五八六〇

みらいちゃんショップ



地域とつながる

障がい者作業所の自主製品販売店が毎月第一、三木曜の午前

福祉委員部会

コロナ禍等で全体としての活動ができない三年間。福祉委員三十七人の中には地域の様々な奉仕活動をされている方もおられます。エルモ設立を受けて他組織と協力を広げ、今までできなかった活動も取り組みたいと思います。
(部長 有馬義憲)

十時半〜午後一時半、火山館交流スペースに開店。太田川学園、工房とも、ひだまりの家が野菜やクッキー、小物などを出品します。
地域の人が、障がいのある人と触れ合い、理解を深める場。店頭で女性会や福祉委員、準備や後片付けに社協や地域包括支援センターも手伝います。
(障がい者福祉部会部長 寿賀本正)

児童福祉部会

あいさつ運動を兼ねた夏休みのラジオ体操会は、十五町内会三十四会場で子ども九百八十七人、大人三百八十四人が参加しました。伴学区子ども会連合会の解散を受け、子どもたちと触れ合うスポーツイベントを十一月、伴小体育館で企画。音楽に合わせた運動などを親子二十人が楽しみました。
(部長 中本力夫)



地域で育てたい



朝だ元気だ イチニーサン